

【日 時】 平成 29 年 10 月 18 日 10:00～12:00

【出 席】協議会委員

学識経験者、地域の住民、保護者代表の 5 名

学校長

事務局職員 12 名

【会議録】

学校長挨拶

協議事項

①保護者からの意見調査は審議なし

②教頭より平成 30 年度使用教科書採択一覧の報告

③首席より学校教育自己診断の中間報告

・「わからない」「そう思わない」の回答では理由が不明。自由記述があれば問題解決の糸口がみえるのでは。

・自由記述は集計が難しいかもしれないが、補助的な情報として活用すればいいのでは。

・「わからない」の回答が少ないので、発信力の強さを感じた。

⇒子どもの分はあるが、保護者、教員には設けていない。集計を工夫する等、検討していく。

・いじめについて、学校としてどのような体制が整っているのか教えてほしい。保護者と温度差があるのでは。

⇒この設問は一般の小中学校に対しての項目なので、本校の現状にあった設問にしていきたい。

・医ケアの必要な数は増えているのか。各学校でマニュアルはあるのか。

⇒ 数は微減であるが、あまり数字に振り回されないほうがいい。新しい医ケアの技術は進んでおり、教員のスキルは着実に進歩しているが、保護者との間にスピード感や意識の差があるのではないかと。マニュアルは各校で実態が違うため独自に作成している。

・子どもはその時だけしかいないので、スピード感を大切にしてほしい。医ケアは進んでいると思うが、別の意見としては岸和田は遅れているという情報がある。確実な情報を発信してほしい。

⇒市町村により取組の差はある。本校としては安全とのバランスをとりながら進めていきたい。

学校見学

協議事項

① 校長より学校経営計画進捗状況について報告。

・楽スタの広がりについてはどうか。

⇒大阪府下で 8 校園、近隣の医療施設でも導入され、全国的にも広がりつつある。

・呼吸管理の研修会はどのようなことをしているのか。

⇒プール学院大学の医師や人工呼吸器を取り扱う業者を招聘し、医ケアに関する講義や機器の操作の仕方を学んだ。

・呼吸器の管理は。空気圧や酸素量は医師が設定しているのか。

⇒機器は医師が設定した状態で使用している。

・機器の故障、停電、緊急対応について連携を検討してはどうか。

⇒岸和田市民病院で受診しカルテを作成する等、校医、主治医と相談しながら進めていく。

・地域の相談会は 2 人で行っているのか。相談内容は。

⇒人材育成を図るため、ベテランと経験の少ない教員が 2 人体制で実施している。発達障がい、自閉症、情緒障がい等の相談が多い。

・地域の支援学級の先生方が研修できる機会を増やしてほしい。

⇒岸和田、佐野、泉南の教員が巡回相談等を実施している。

・府教育センターでも支援学級の先生を対象にした研修が行われている。

事務連絡、閉会

(・ 委員意見 ⇒ 事務局意見)